

千年の都・

コンスタントン・テイノーポール

ビザンツ帝国の

面影をたどる

三九五年のローマ帝国の東西分裂の後も、千年もの歴史を紡いだビザンツ（東ローマ）帝国
その首都として帝国の栄華を支えたのが、コンスタンティノープルであった。
東洋と西洋の文化が交わるトルコのイスタンブールへと、後世に名を支えたこの町には
千年帝国の一部がいまなお息づいているといえます。

井上浩一

著

Profile 井上浩一は、1951年、三重県津市に生まれる。早稲田大学卒業。

1975年、早稲田大学で『ビザンツ帝国の歴史』を著す。1980年、『ビザンツ帝国の歴史』を著す。1985年、『ビザンツ帝国の歴史』を著す。1990年、『ビザンツ帝国の歴史』を著す。1995年、『ビザンツ帝国の歴史』を著す。2000年、『ビザンツ帝国の歴史』を著す。2005年、『ビザンツ帝国の歴史』を著す。2010年、『ビザンツ帝国の歴史』を著す。2015年、『ビザンツ帝国の歴史』を著す。2020年、『ビザンツ帝国の歴史』を著す。

トルコ最大の都市イスタンブール

はイスタンブールの町である。街のあちこちに建つモスク、トプカプ宮殿に輝くスルタン（君主）のハレ

コンスタンティノープル